

第2回横浜市保護施設指定管理者選定委員会 議事録							
日 時	令和7年8月1日（金） 午後1時15分～午後5時						
開催場所	市役所18階会議室なみき19						
出席者	石渡委員長、品川委員、目黒委員、森委員、事務局3名						
欠席者	加藤委員						
開催形態	非公開						
議題	<input type="checkbox"/> 横浜市保護施設指定管理者 応募団体の面接審査 <input type="checkbox"/> 指定候補者の候補者（以下「指定候補者」という。）の選定						
決定事項	<input type="checkbox"/> 保護施設の指定候補者について次のとおり決定した。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>施設</th><th>指定候補者</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>横浜市浦舟園</td><td>社会福祉法人 神奈川県匡済会</td></tr> <tr> <td>横浜市中央浩生館</td><td>社会福祉法人 横浜市社会事業協会</td></tr> </tbody> </table>	施設	指定候補者	横浜市浦舟園	社会福祉法人 神奈川県匡済会	横浜市中央浩生館	社会福祉法人 横浜市社会事業協会
施設	指定候補者						
横浜市浦舟園	社会福祉法人 神奈川県匡済会						
横浜市中央浩生館	社会福祉法人 横浜市社会事業協会						
次第	1 開会あいさつ等 2 応募団体の面接審査（プレゼンテーション及び質疑応答） (1) 横浜市浦舟園応募団体の面接審査 (2) 横浜市中央浩生館応募団体の面接審査 3 指定候補者の選定 4 その他						
議事	<p><b>1 開会あいさつ等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局から、選定委員会の有効な成立（※委員5人中4人の出席）と非公開の確認</li> <li>・事務局から、各施設の団体の応募状況及び選定委員会の進め方の説明</li> <li>・応募団体がいずれも1団体であり、評価項目「項目5 加減点項目」の評価は不要であることの確認</li> </ul> <p><b>2 応募団体の面接審査（プレゼンテーション及び質疑応答）</b></p> <p>(1) 横浜市浦舟園応募団体の面接審査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「社会福祉法人 神奈川県匡済会」によるプレゼンテーション</li> <li>【質疑応答】</li> </ul> <p>【評価項目1：応募団体の状況】</p> <p>委員：資金収支の推移で2022年度に下がっている理由は。</p> <p>団体：2022年度の資金減少は、コロナによる利用控えが主な原因。</p> <p>【評価項目2：職員配置・育成】</p> <p>委員：採用実績は、施設の採用実績ですか。</p> <p>団体：採用実績は施設単位であり、団体全体ではない。</p> <p>委員：離職率は出していますか。</p> <p>団体：離職率は6～7%と低め。主な理由は家庭の事情（育児・介護など）。</p> <p>委員：欠員時、即座に人が入らないような場合、どうしているか。</p> <p>団体：人材確保は困難で、欠員対策として多めに採用している。非常勤職員の活用や紹介会社も利用。</p> <p>委員：外国人材は活躍しているか。</p> <p>団体：浦舟園で1名生活指導員として業務に携わっている。今後はミャンマー・インドネシアからの採用も検討している。</p> <p>委員：引き続き、共生社会の実現に向けて取り組んでください。</p>						

**【評価項目3：施設の管理・運営】**

委員：防災について、想定している災害で力を入れているものがありますか。

団体：防災対策は地震を重視している。利用者と職員が簡易トイレの使い方について研修を実施する等している。

委員：地域との連携はどうか。

団体：地域連携として、福祉避難所の体制整備や近隣施設との防災合同訓練に参加している。

委員：他の施設でノロウィルス発生した場合、施設の行き来をしないなど徹底をしているか。

団体：普段、入所施設間の行き来はない。感染症発生時は、入所の見学を控える等、拡大具合を見ながら進める。

委員：言葉を発するのが困難な方への対応について。

団体：筆談・身振り・ボイスエイドなどを活用。補聴器使用者もいる。

**【評価項目4：事業の企画・実施】**

委員：健康管理のところで「医療的ケア」という言葉が出てきていますが、具体的にどんなケアが必要な方がいらっしゃるのか。

団体：精神疾患のある利用者が多く、服薬管理や水分摂取のチェックを実施。透析利用者は受け入れていない。

委員：居室が一人部屋になるか、二人部屋になるか、決め手は。

団体：居室の決定は精神症状に応じて個室・相部屋を判断。

委員：施設を出て新しい暮らしを始めた場合、どんな暮らしをしているか。

団体：退所後の生活は、年齢や状態に応じてアパート・グループホーム・老人ホームなどへ移行。

委員：施設を出た後のフォローはされていますか。

団体：退所後のフォローはコロナで一時中断していたが、イベントなどで交流を継続。

**【全体を通して】**

委員：複合施設の修繕管理はどのようにしているのか。

団体：修繕費の負担は共用部などを按分し、施設ごとに予算化して対応。

**(2) 横浜市中央浩生館応募団体の面接審査**

- ・「社会福祉法人 横浜市社会事業協会」によるプレゼンテーション

**【質疑応答】**

**【評価項目1：応募団体の状況】**

委員：退所後のフォローで長い場合はどのくらいの期間、どんなことをやるのですか。

団体：退所後の支援は訪問や通所事業を通じて継続的に実施。期間は数ヶ月～数年。施設独自で実施している見守り事業は、生活保護が切れた後も生活状況の確認や助言を半年程度行う。

委員：施設を出た後の移行は。

団体：退所後の生活は地域のアパートが中心。障害や高齢者は専門施設へ移行。

委員：自立生活で見守り事業してもまた戻ってくる人はいるか。

団体：再入所者は少数だが、生活の不安定化（例：アルコール依存、金銭管理困難）により戻るケースもある。

**【評価項目 2：職員配置・育成】**

委員：離職率はどれくらいか。辞める理由や傾向があれば教えてください。

団体：離職率は 25～30%。若年層（新卒中心）が多く、公務員や他業界へ転職する傾向。

委員：特に力を入れている研修のテーマはありますか。

団体：研修は「福祉職の価値・倫理」と「キャリアデザイン」の二本柱。

委員：事業を超えての異動はありますか。

団体：異動制度あります。分野を超えた経験を重視し、資格取得支援も実施。

委員：正規の職員とパート職員の割合は。

団体：職員構成は正規職員約 250 人、パート職員約 350 人。

**【評価項目 3：施設の管理・運営】**

委員：障害があつてコミュニケーションが難しい方、ニーズを自ら訴えられない方に対する工夫はありますか。

団体：利用者のニーズ把握は職員との個別関係を通じて対応。障害が軽度なため意思表示は比較的可能。

委員：職員異動のスパンはどのくらいか。

団体：職員の担当期間は 4～5 年程度と長め。情報共有を重視している。

委員：施設を維持修繕していくうえで、今後検討していることはありますか。

団体：施設の老朽化対策は早期対応を意識。設備点検・修繕を定期的に実施している。大規模修繕は市と相談しながら対応。

委員：令和 6 年度の指定管理料はどれくらいだったのですか。

団体：補助金や利用者負担などを含めると約 1 億 6,000 万円。指定管理料は物価上昇等を考慮して毎年度、改定される。

**【評価項目 4：事業の企画・実施】**

委員：自立支援では、どういう機関や職種と連携することが多いのか。

団体：生活支援課・ケースワーカー・医療機関・自助グループと連携。

委員長：歴史が長いが、以前と比べて利用者さんの特徴や課題はありますか。

団体：利用者の傾向は若年層や居宅・病院からの入所が増加。社会的支援やコミュニケーション支援が必要なケースが多い。

委員：独自事業としてやっておられる生活訓練プログラムを利用して自立された方はおられるのか。

団体：自立生活体験事業では地域アパートを借りて生活訓練を実施。年間約 10 名が利用し、半数が自立に成功。

委員：自立していこうとなった場合、借り上げているワンルームから、そのまま不動産さんにいくのですか。

団体：一旦、施設に戻り、物件探しの同行や生活設計の助言を実施。実施機関に共有し、居宅生活が可能であるか見極める。希望者には半年程度のフォローあり。

委員：医療的ケアは、例えば痰の吸引のような医療的ケアはあるか。

団体：医療的ケアは服薬管理が中心。痰の吸引などの高度な医療ケアは対象外。

### 3 指定候補者の選定

・事務局から、審査の流れを説明。

・事務局から、市税の滞納状況及び暴力団又は暴力団経営支配団体等でないことを確認した旨の報告。

- ・森委員から団体の財務状況についての報告
- ・各委員による評価の実施、及び事務局による集計
- ・事務局から評価の集計結果について報告

【集計結果】

施設名	団体名	合計点 (560点中)	取得率	最低基準 (※) の取得
横浜市浦舟園	神奈川県匡済会	470	83.92%	○
横浜市中央浩生館	横浜市社会事業協会	459	81.96%	○

※最低基準は6割です。

- ・各施設について、上記団体を指定候補者として選定

4 その他

- ・事務局から今後のスケジュール等について説明

資料	1 応募書類一式 2 応募団体一覧 3 法人財務状況分析資料
----	--------------------------------------